

第17回(2017年度)

グリーン・サステイナブルケミストリー賞 業績募集 経済産業大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞 スモールビジネス賞、奨励賞

公益社団法人新化学技術推進協会 グリーン・サステイナブル ケミストリー ネットワーク会議(略称: JACI GSCN 会議)は、第17回グリーン・サステイナブル ケミストリー賞(略称:GSC 賞)の業績を募集致します。

グリーン・サステイナブル ケミストリー(略称: GSC、詳細は別紙参照)の推進に貢献する優れた業績を挙げた個人、団体を表彰致します。奮ってご応募下さい。再応募も歓迎いたします。

詳細や過去の表彰等については、JACI のホームページ(<http://www.jaci.or.jp>)をご覧ください。

JACI GSCN 会議では、地球環境・社会・経済的課題がグローバル化・複雑化する状況下で、2015年2月にGSCの定義・指針・事例の改訂を行いました。

これまでの化学製品の全サイクルにおける環境負荷低減を中心とする視点のみならず、長期的・全地球的規模の課題の解決と、より健康で豊かな社会の持続可能な発展をもたらす牽引役としての広がりを持つ活動を、新たなGSCの方向と位置付けました。また、その推進に向けて、既存の学問分野の壁、学・産・官の壁、さらには国と国の壁をも超えて、世界に開いた協調と連携によって挑んでいくこととしました。

この考えは、2015年7月に開催されたGSC東京国際会議(GSC-7)において、東京宣言2015に結実しています。

GSC 賞 募集要項

I. 表彰区分

1. 経済産業大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞

GSCの推進に著しく貢献した以下①～③の業績で、カテゴリ-A～Cに応募された中から各賞1件以内

- ①経済産業大臣賞は産業技術の発展に貢献した業績
- ②文部科学大臣賞は学術の発展・普及に貢献した業績
- ③環境大臣賞は総合的な環境負荷低減に貢献した業績

カテゴリー分類（各々すべての項目を満たすこと）

カテゴリーA

- i) GSC を基盤とする新規な技術・製品・サービス・システム
- ii) 事業化実績のあるもの

カテゴリーB

- i) GSC における新規概念・手法の開拓、あるいは新規現象の発見・解析・解明
- ii) GSC における飛躍的展開を促す科学的基盤の分野における独創的な学術的研究

カテゴリーC

- i) GSC の体系化・普及啓発・教育および GSC の評価方法の確立・普及に関わる活動

2. スモールビジネス賞

GSC の推進に貢献した中小規模の事業体による業績で、カテゴリーDに応募された中から 2 件以内

カテゴリー分類（すべての項目を満たすこと）

カテゴリーD

- i) GSC を基盤とする新規な技術・製品・サービス・システム
- ii) 事業化実績のあるもの
- iii) 中小規模の事業体によるもの（中小規模事業体の定義は、応募資格の項を参照）

3. 奨励賞

GSC の推進においてその貢献が将来期待できる業績で、カテゴリーE～Fに応募された中から 5件以内

カテゴリー分類（各々すべての項目を満たすこと）

カテゴリーE

- i) GSC を基盤とする新規な技術・製品・サービス・システム
- ii) 応募時点では事業化を計画しているあるいは事業化されて間もないもの

カテゴリーF

- i) 新規概念・手法の開拓、あるいは新規現象の発見または解析・解明
- ii) GSC における飛躍的展開を促す科学的基盤の分野における独創的な学術的研究
- iii) 2017年4月1日における年齢が40歳未満の若手研究者によるもの

II. 応募資格

1. 共通の要件

- (1) わが国における GSC の推進に貢献のあった、あるいは貢献が期待できる個人、法人および任意団体とします（公益社団法人新化学技術推進協会の会員であることを要しません）。複数の個人、法人および任意団体による応募も可とします。但し、1業績に対して5個人・法人・団体を上限とします。
- (2) JACI/GSC シンポジウムでポスター発表したことがある業績であることとします。但し、次回第7回 JACI/GSC シンポジウム(2018年6月14、15日@神戸開催予定)においてポスター発表するものも可とします。

- (3) 研究や開発活動の終了から概ね5年を経過していない業績であることとします。但し、評価が定まるのに長期を要する業績で、過去5年以内に顕著な評価を受けるに至った業績もとします。
- (4) 過去にGSC賞を受賞した業績と同一の業績は再応募不可とします。但し、スモールビジネス賞または奨励賞を受賞後に著しい進展が認められた場合、次のとおり再応募することができます。
- ①スモールビジネス賞受賞業績 ⇒ カテゴリーAに再応募可
 - ②奨励賞/カテゴリーE受賞業績 ⇒ カテゴリーAまたはDに再応募可
 - ③奨励賞/カテゴリーF受賞業績 ⇒ カテゴリーBまたはDに再応募可
- (5) JACI/GSC シンポジウムでの受賞講演、ニュースレターへの寄稿等、受賞に関連するJACI GSCN 会議の諸活動に協力して頂きます。

2. スモールビジネス賞に関する追加要件

スモールビジネス賞の対象となる事業体は、以下の①および②の両方の条件を満たすこととします。

- ①資本金額または出資総額が3億円以下の事業体、または、常時使用する従業員が300人以下の事業体のいずれかに該当すること。(中小企業基本法・「中小企業者・製造業の範囲」に準拠)
- ②いわゆる大企業(①に該当しない企業)が実質支配するグループや組合に該当しないこと。すなわち、大企業の出資が50%以上の企業、持分法適用関連会社等の大企業の連結対象企業でないこと。

3. 奨励賞/カテゴリーEに関する追加要件

カテゴリーEによる奨励賞の応募者は、事業を実施中または計画中の事業体(所属者)を含むことを必須とします。

Ⅲ. 表彰方法

- (1) 賞記及び盾をもって表彰します。
- (2) 表彰は第7回JACI/GSC シンポジウムで行います(2018年6月14~15日 神戸にて開催予定)。
- (3) 上記シンポジウムにおいて受賞講演を行って頂く場合があります。
- (4) 受賞業績をJACIのホームページやニュースレター等を通して広報します。

Ⅳ. 選考方法

- (1) 選考は、応募時に選択したカテゴリー別に行います。
- (2) 一次選考として、JACI GSCN 会議を構成する団体から推薦された技術専門委員等による一次選考委員会が、書類審査を行い、候補業績を二次選考委員会に推薦します。但し、奨励賞は一次選考委員会のみで受賞業績を選考します。
- (3) 二次選考として、各界の有識者からなる二次選考委員会が、応募者のプレゼンテーションと質疑によって、受賞業績を選考します。

V. 選考基準

GSC の観点から、以下**6項目**で応募業績の評価を行います。

- ①GSC 適合度(別紙 グリーン・サステイナブル ケミストリー(略称:GSC)についてを参照)、
- ②社会的価値(インパクト及び波及効果)、
- ③経済性・実現性、
- ④新規性・独創性、
- ⑤技術・研究の発展性、
- ⑥科学的・学術的妥当性

VI. 応募要領

1. 応募手順

(1) JACI ホームページからの申請：①と②の事項を下記 URL の申請フォームに入力してください

①応募カテゴリーの選択：A～F から一つ

②応募者名、業績の表題等必要事項の入力

JACI GSC 賞ホームページ：http://www.jaci.or.jp/gscn/page_03.html

(2) 応募資料の提出：下記資料を電子ファイルにし、電子メールに添付して送付してください。

①業績説明書 [様式 x]

i) 業績の内容説明文、図表(本文は 2,000 字程度)

ii) 業績に関連する主要論文・主要特許のリスト(本文に引用されたもの)

iii) 自己評価シート

iv) 使用する主要化学品及び製品の安全に関する情報(奨励賞を除きます)

②重要な論文・特許の写し(各 3 件以内)

③化学品及び製品の SDS(奨励賞を除きます)

(注 1) 様式 x はカテゴリー毎に、JACI GSC 賞ホームページ：

http://www.jaci.or.jp/gscn/page_03.html からダウンロードして、使用してください。

([様式 x] x はカテゴリーを表します。例：カテゴリー A は[様式 A])

2. 応募締切

(1) ホームページからの申請 2017 年 11 月 17 日(金) 17 時 締切

(2) 応募資料の提出 2017 年 11 月 20 日(月) 17 時 必着

3. 応募書類の送付先

(公社)新化学技術推進協会 GSC 賞事務局 gscn17@jaci.or.jp

VII. その他

(1) 表彰式(第 7 回 JACI/GSC シンポジウム)への参加に関わる交通費等は事務局にて負担します。

(2) 提出された申請書、資料につきましては、本 GSC 賞の選考の為のみに使用します。また個人情報等は当協会のプライバシーポリシーに従って取り扱います。

<別紙>

グリーン・サステイナブル ケミストリー (略称:GSC) について

GSC の定義

人と環境にやさしく、持続可能な社会の発展を支える化学

GSC 活動の指針

人類社会の持続可能な発展のために、化学は、未来にむけた研究・教育、および環境に配慮したシステム、プロセス、製品の開発に、取り組んできました。とりわけ、1992年の地球環境サミット、リオデジャネイロ宣言を受けて、化学は、産・学・官一体となって、GSCN を立ち上げて課題に取り組み、そして化学製品の設計から、原料の選択、製造過程、使用形態、リサイクル・廃棄までの製品の全サイクルにおいて、環境、安全、健康に配慮しつつ、環境との共生の下、社会の要求に従い、経済合理性をもつべく活動を進めてきました。

全地球規模で、今世紀、資源・エネルギー、地球温暖化、水・食糧、人口問題等の長期的課題が深刻化・複雑化しています。これらの課題解決を図り、より健康で豊かな社会の持続的発展をもたらす牽引役として、化学を基盤とするイノベーションへの期待は、益々大きくなっています。

化学は、消費者・産業・学・官・国等の枠組みを超えたグローバルな連携・協調によって GSC を強力に推進し、これらの期待に応えていきます。

GSC の事例

【低環境負荷生産に向けた資源消費最小化・反応プロセス高効率化】

- ①副生成物の発生量を低減する化学技術および製品
- ②CO₂等の温室効果ガスや汚染物質の発生を抑え、環境負荷を低減する分離・精製・リサイクル
- ③CO₂等の温室効果ガスの発生量、環境への放出量を低減する化学技術および製品
- ④省資源・省エネを実現する触媒および反応プロセス

【安全・安心な生活環境に資する化学物質リスク低減】

- ⑤廃棄物の発生量を低減する化学技術、製品およびシステム
- ⑥有害・汚染物質の発生と排出を抑止する化学技術、製品およびシステム

【エネルギー・資源・食糧・水問題の解決へ向けた取組み】

- ⑦低品位の熱源や非在来型資源等を利活用するための科学技術、製品およびシステム
- ⑧未利用エネルギー・資源を有効なエネルギーに転換して貯蔵・輸送する化学技術、製品およびシステム
- ⑨枯渇資源（化石資源、希少資源）への依存度を低減する、または再生可能エネルギー・資源への転換・貯蔵を促進する化学技術、製品およびシステム
- ⑩3R（リデュース・リユース・リサイクル）に貢献する化学技術、製品およびシステム
- ⑪食糧の生産・供給過程の高効率化、水資源の有効活用に資する化学技術、製品およびシステム

【安全・安心・豊かで持続可能な社会実現のための長期的課題に対する先駆的取組み】

- ⑫社会的課題の解決（エネルギー・資源、食糧・水、防災・インフラ整備、運輸・物流、医療・ヘルスケア、教育・福祉等）のための、ICT 等を活用した新しい社会システムの導入に貢献する、化学技術、新製品、および新形態のサービス
- ⑬環境への負荷を抑止しつつ社会や人の快適性の向上に寄与する化学・化学技術、新製品、および新形態のサービス

【GSC の体系化・普及啓発・教育および GSC の評価方法の確立・普及】

- ⑭GSC の体系化
- ⑮GSC の普及啓発・教育
- ⑯GSC に関する評価方法、ライフサイクルアセスメントの確立と普及

— <JACI GSCN 会議構成団体> —

(一財)化学研究評価機構 (公社)化学工学会 (一社)化学情報協会 関西化学工業協会 (公財)京都高度技術研究所
(一社)近畿化学協会 ケイ素化学協会 合成樹脂工業協会 (公社)高分子学会 (公社)高分子学会高分子同友会
(公財)相模中央化学研究所 (国研)産業技術総合研究所 次世代化学材料評価技術研究組合 (一社)触媒学会
石油化学工業協会 (公社)石油学会 (公財)地球環境産業技術研究機構 (公社)電気化学会
(地独)東京都立産業技術研究センター (公社)日本化学会 (一社)日本化学工業協会 (公社)日本セラミックス協会
(一社)日本電子回路工業会 (一社)日本塗料工業会 日本バイオマテリアル学会 (公社)日本分析化学会
(一社)日本分析機器工業会 (公財)野口研究所 (一財)バイオインダストリー協会 (国研)物質・材料研究機構
(一社)プラスチック循環利用協会 (公社)有機合成化学協会 (国研)理化学研究所

お問い合わせ： 公益社団法人新化学技術推進協会
〒102-0075 東京都千代田区三番町2番地
TEL：03-6272-6880 FAX：03-5211-5920